



プレスリリース  
**News**

No.12

## れきぶんの七夕

長崎歴史文化博物館では、七夕にちなんだイベントを開催します。是非、ご取材・情報掲載のほど、宜しくお願いいたします。

### 願いを叶えよう七夕かざり



短冊に願いごとを書いて、笹竹に飾りましょう。期間中はスタッフが浴衣でお出迎えます。

日時：2016年7月2日(土)～7日(木) 8:30～19:00

会場：1階エントランス

参加費：無料

### はくぶつかんのおはなし会



七夕にちなんだ飾りの見学と、おはなしの読み聞かせ、作品づくりを行います。

日時：2016年7月2日(土) 10:30～11:30

会場：2階イベントの間(立山亭)

参加費：無料 ※電話にて要事前申込

定員：20名(対象：幼児～小学校低学年)

### 町屋「七夕」

江戸時代の長崎の商家を復元した町屋では、七夕にちなんだ笹の葉などの飾りと、供物を再現展示しています。

日時：2016年6月21日(火)～7月31日(日) 8:30～19:00(最終入館18:30)

会場：歴史文化展示ゾーン 町屋(常設展示室内)

料金：常設展観覧料でご覧いただけます。

大人600円、小中高校生300円 ※長崎県内の小中学生は無料



#### 〈七夕飾りについて〉

竹に飾られた吹流しや短冊は、織女にちなんだ糸や布をあらわしていて短冊の五色の色は陰陽五行説にちなんでいる。

また2本の笹竹をつなぐ赤い糸は“運命の二人は赤い糸で結ばれている”という中国の唐の時代の故事にちなんだものとされる。



#### 〈七夕供物〉

##### ○素麺(そうめん)

七夕には素麺を天の川に見立てて食卓にのぼることがあるが、供物ともされる。これは中国の故事に由来するものであるという説もある。

##### ○瓜(うり)

瓜は水分を多く含むことから、水神信仰とのかかわりが深い。七夕の伝説によれば、牽牛(彦星)と織女(織姫)の家の畑の瓜を割って生まれた天の川によって、仲をさかれたとされており、これにちなんで供物とするといわれている。



長崎歴史文化博物館  
Nagasaki Museum of History and Culture

〒850-0007 長崎市立山1-1-1

TEL:095-818-8366 FAX:095-818-8407

担当 教育普及グループ 広報担当 大石美・前田

☆れきぶんメールマガジン 登録無料! 最新情報をお届けします。  
詳しくは右のQRコード または <http://www.rekimaga.info/> まで!

